

# Dell Vostro 3471


## セットアップと仕様ガイド





<b>1 コンピュータのセットアップ</b> .....	<b>5</b>
<b>2 シャーシの概要</b> .....	<b>10</b>
システムの前面図.....	10
システムの背面図.....	11
<b>3 技術仕様</b> .....	<b>12</b>
物理的仕様.....	12
システム情報.....	12
プロセッサの仕様.....	13
オペレーティングシステム.....	13
メモリの仕様.....	13
ポートとコネクタ.....	13
通信.....	14
ビデオ.....	15
オーディオの仕様.....	15
Storage.....	15
電源装置の仕様.....	16
セキュリティ ハードウェア.....	16
法令順守と環境への配慮.....	16
<b>4 セットアップユーティリティ</b> .....	<b>17</b>
セットアップユーティリティへのアクセス.....	17
ナビゲーションキー.....	17
セットアップユーティリティのオプション.....	18
一般的な画面オプション.....	18
システム設定画面のオプション.....	18
ビデオ画面オプション.....	19
セキュリティ画面オプション.....	20
安全起動画面のオプション.....	21
Intel Software Guard Extensions 画面オプション.....	21
パフォーマンス画面のオプション.....	22
電力管理画面のオプション.....	22
POST 動作画面のオプション.....	23
仮想化サポート画面のオプション.....	23
ワイヤレス画面オプション.....	24
詳細設定オプション.....	24
メンテナンス画面のオプション.....	24
システムログ画面のオプション.....	24
SupportAssist システムの解決策.....	25
Windows での BIOS のアップデート.....	25
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	25
システムパスワードまたはセットアップパスワードの割り当て.....	26
既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更.....	26

<b>5 ソフトウェア</b> .....	<b>27</b>
オペレーティングシステム.....	27
ドライバのダウンロード.....	27
Intel チップセットドライバ.....	27
シリアル I/O ドライバ.....	28
USB ドライバ.....	29
ネットワーク ドライバ.....	29
Realtek オーディオ.....	29
シリアル ATA ドライバ.....	30
<b>6 ヘルプ</b> .....	<b>31</b>
デルへのお問い合わせ.....	31

## メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

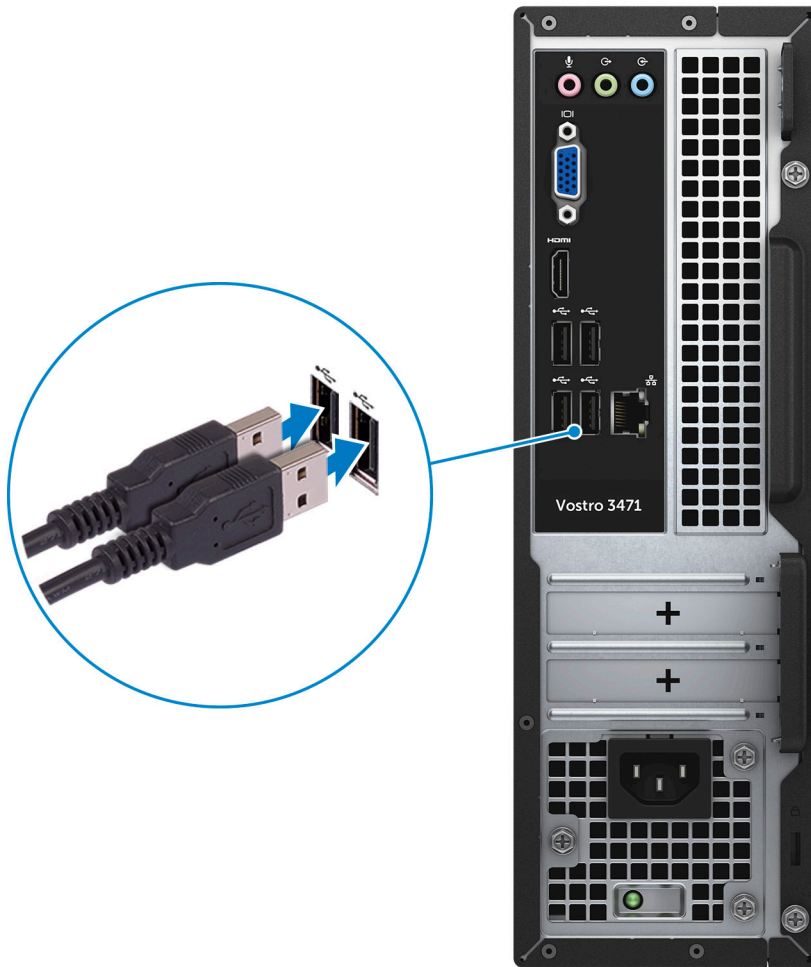
 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

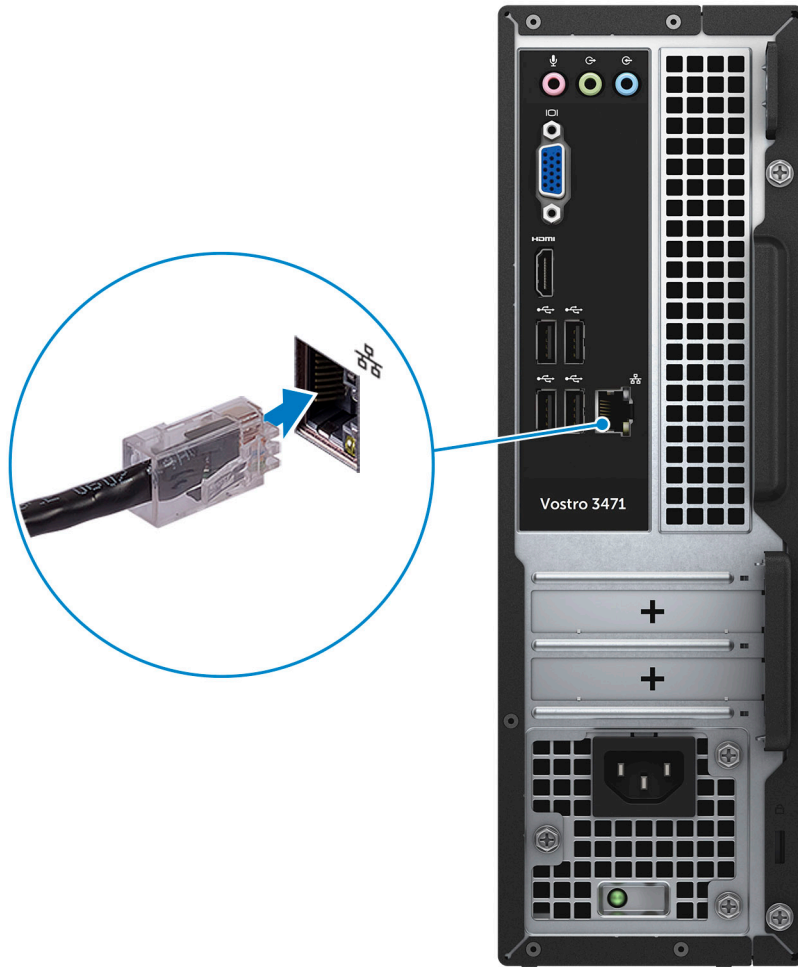
© 2019 年 -2020 Dell Inc. またはその関連会社。All rights reserved. Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

# コンピュータのセットアップ

1. キーボードとマウスを接続します。



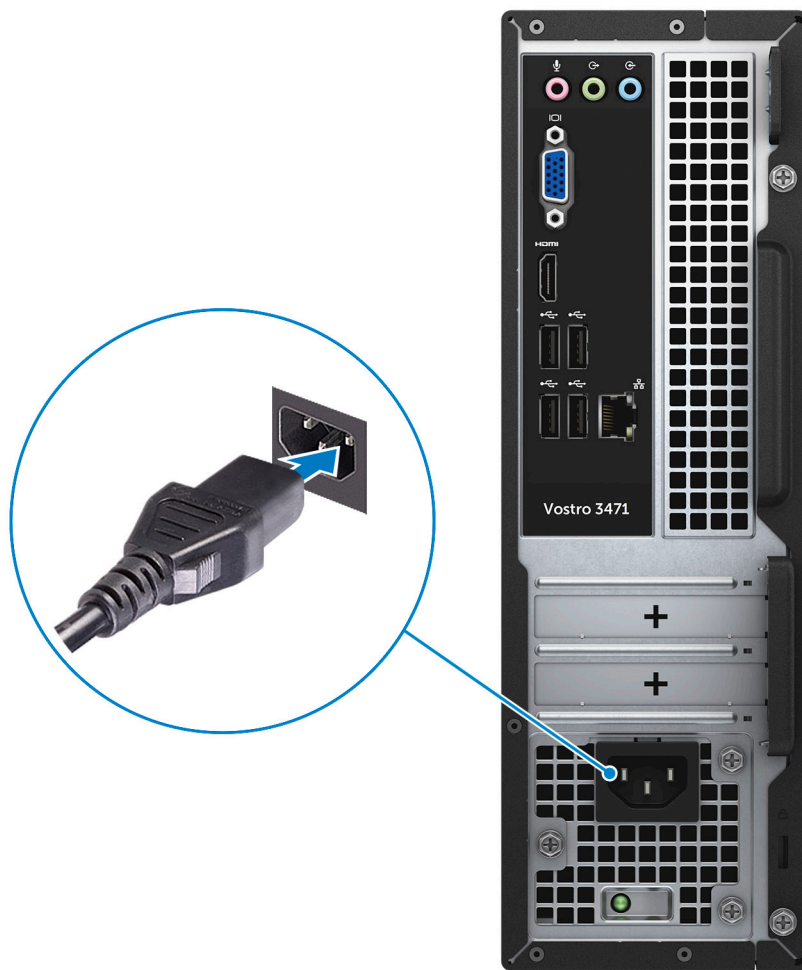
2. ケーブルを使用してネットワークに接続します。



3. ディスプレイを接続します。



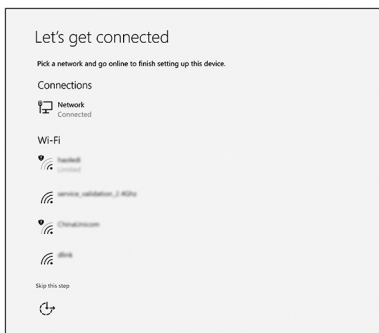
4. 電源ケーブルを接続します。



5. 電源ボタンを押します。



6. 画面の手順に従って Windows セットアップを終了します。
- a) ネットワークに接続します。



- b) Microsoft アカウントにサインイン、または新しいアカウントを作成します。

Make it yours

Your Microsoft account opens a world of benefits. [Learn more](#)

[Forgot my password](#)

No account? [Create one!](#)

[Microsoft privacy statement](#)

[Sign in](#)

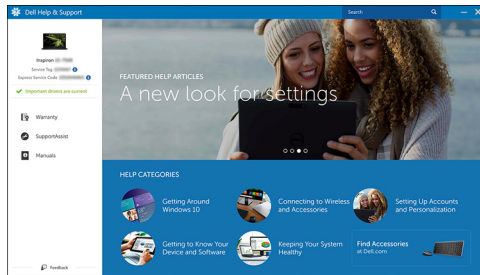
7. Dell アプリを見つけます。

表 1. Dell アプリを見つける



コンピュータを登録する

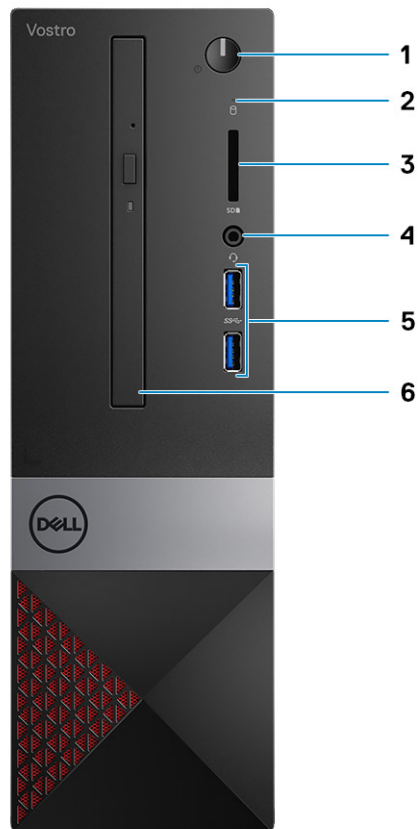
デルのヘルプとサポート



SupportAssist — コンピュータを確認してアップデートする

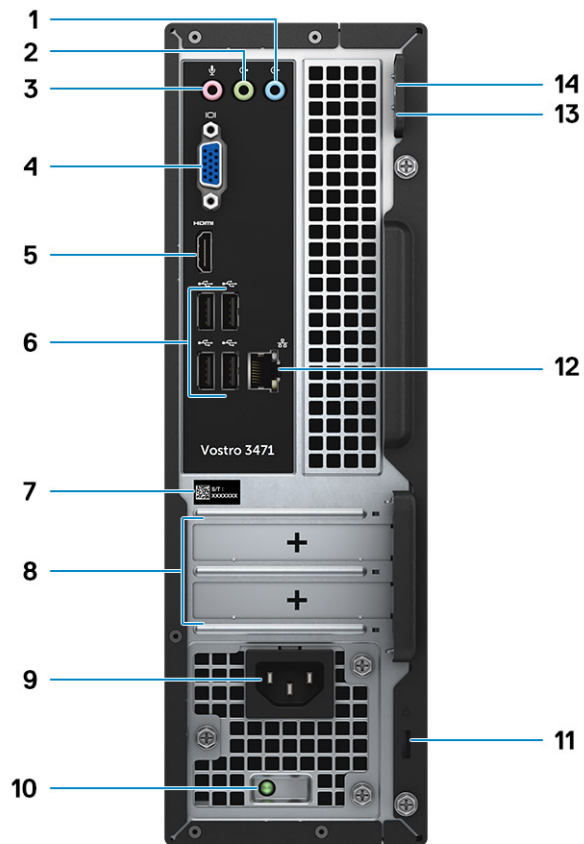
## シャーシの概要

### システムの前面図



1. 電源ボタン / 電源ステータス LED
2. ハードドライブ動作ライト
3. メモリカードリーダー
4. ユニバーサル オーディオ/マイク コネクタ
5. USB 3.1 Gen 1 ポート (2)
6. オプティカルドライブ

# システムの背面図



1. ライン入力ポート
2. ライン出力ポート
3. マイクポート
4. VGA ポート
5. HDMI ポート
6. USB 2.0 ポート (4)
7. サービスタグ
8. 拡張カードスロット
9. 電源コネクタポート
10. 電源診断ライト
11. ケンジントン セキュリティ スロット
12. ネットワークポート
13. パドロック リング 1
14. パドロック リング 2

## 技術仕様

① **メモ:** 提供されるものは地域により異なる場合があります。次の仕様には、コンピューターの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載しています。コンピューターの構成の詳細については、**Windows** オペレーティングシステムで [ヘルプとサポート] を開き、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

トピック：

- ・ 物理的仕様
- ・ システム情報
- ・ プロセッサの仕様
- ・ オペレーティングシステム
- ・ メモリの仕様
- ・ ポートとコネクタ
- ・ 通信
- ・ ビデオ
- ・ オーディオの仕様
- ・ Storage
- ・ 電源装置の仕様
- ・ セキュリティ ハードウェア
- ・ 法令順守と環境への配慮

## 物理的仕様

表 2. 物理的仕様

特長	仕様
高さ	290 mm ( 11.4 インチ )
幅	92.6 mm ( 3.6 インチ )
奥行き	293 mm ( 11.5 インチ )
重量	4.8 kg ( 19.7 ポンド )

## システム情報

表 3. システム情報

特長	仕様
チップセット	インテル B365
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	256 Mbit
PCIe クロック バス	100 Mhz
外付けバスの周波数	DMI 3.0-8GT/秒

# プロセッサの仕様

① **メモ:** プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

# オペレーティングシステム

サポートされているオペレーティングシステム：

- ・ Windows 10 Home ( 64 ビット )
- ・ Windows 10 Professional ( 64 ビット )
- ・ Ubuntu
- ・ Windows 10 national academy

# メモリの仕様

表 4. メモリの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	32 GB
スロット数	2
スロットごとにサポートされる最大メモリ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ スロット構成 1 : 4 GB</li><li>・ スロット構成 2 : 8 GB</li><li>・ スロット構成 3 : 16 GB</li></ul>
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 4 GB ( 4 GB x 1 )</li><li>・ 8 GB ( 4 GB x 2 または 8 GB x 1 )</li><li>・ 12 GB ( 4 GB x 1 + 8 GB x 1 )</li><li>・ 16 GB ( 8 GB x 2 または 16 GB x 1 )</li><li>・ 24 GB ( 8 GB x 1 + 16 GB x 1 )</li><li>・ 32 GB ( 16 GB x 2 )</li></ul>
タイプ	デュアルチャネル DDR4
速度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 速度構成 1 : インテル第 9 世代 i5/i7 は 2666 MHz</li><li>・ 速度構成 2 : インテル第 9 世代 i3/インテル Pentium Gold/インテル Celeron は 2400MHz</li></ul>

① **メモ:** メモリ モジュールはお客様にて交換可能なパーツ ( CRU ) のためアップグレードできます。

# ポートとコネクタ

表 5. 外部ポートとコネクタ

説明	値
外部：	
ネットワーク	RJ-45 ポート ( 1 )
USB	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2 x USB 3.1 Gen1 ポート</li><li>・ USB 2.0 ポート ( 4 )</li></ul>

説明	値
Audio	1x ヘッドセット (ヘッドフォンとマイクのコンボ) ポート、1x ライン入力/ライン出力/マイク ジャック
ビデオ	1x HDMI 1.4b ポート、1x VGA ポート
メディアカードリーダー	SD カードスロット (1)
ドッキングポート	非対応
電源アダプターポート	NA
セキュリティ	NA
Express カード	非対応
スマートカードリーダー	非対応
レガシー ポート	非対応
uSIM (マイクロサブスライバー識別モジュール) カード	非対応

表 6. 内部ポートとコネクタ

説明	値
<b>内部:</b>	
拡張	PCIe x16 拡張カード スロット x1 および PCIe x1 拡張カード スロット x1
mSATA スロット	該当なし
SATA スロット	3.5 インチ HDD 用 SATA x1 (または 2.5 インチ HDD 用 SATA スロット x2)、ODD 用 SATA スロット x1
M.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1x Wi-Fi および Bluetooth のコンボカード用 M.2 2230 スロット</li> <li>SATA ソリッドステートドライブ用 M.2 2230/2280 スロット x1</li> </ul> <p><b>メモ:</b> さまざまなタイプの M.2 カードの機能の詳細については、ナレッジベース記事 <a href="#">SLN301626</a> を参照してください。</p>

## 通信

### イーサネット

表 7. Ethernet の仕様

説明	値
Model number (モデル番号)	REALTEK RTL8111H PCI-e ギガビット Ethernet コントローラ
転送レート	10/100/1000

### ワイヤレス モジュール

表 8. ワイヤレス モジュールの仕様

説明	値
Model number (モデル番号)	Qualcomm DW1707
転送レート	最大 150 Mbps

説明	値
サポートされている周波数帯域	2.4 GHz
ワイヤレス規格	WiFi 802.11b/g/n
暗号化	<ul style="list-style-type: none"> <li>64 ビット/128 ビット WEP</li> <li>AES-CCMP</li> <li>TKIP</li> </ul>
Bluetooth	Bluetooth 4.0

## ビデオ

表 9. 専用グラフィックス カードの仕様

### 専用グラフィックス カード

コントローラ	外部ディスプレイ対応	メモリサイズ	メモリのタイプ
NVIDIA GT730LP	1*HDMI/1*DVI-D/1*VGA	2 GB	GDDR5

表 10. 内蔵グラフィックの仕様

### 内蔵グラフィックス

コントローラ	外部ディスプレイ対応	メモリサイズ	プロセッサ
インテル UHD 630 グラフィックス	HDMI 1.4b ポート (1)	共有システムメモリ	第 8/9 世代インテル Core i3/i5/i7
インテル UHD 610 グラフィックス	HDMI 1.4b ポート (1)	共有システムメモリ	インテル Cel、PDC

## オーディオの仕様

表 11. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	Waves MaxxAudio Pro
タイプ	4 チャンネル HD オーディオ
インタフェース	<ul style="list-style-type: none"> <li>5.1 サラウンド サウンドをサポートするライン入力、ライン出力、マイク ポート</li> <li>高音質スピーカー</li> <li>ステレオヘッドセット/マイクコンボ</li> </ul>

## Storage

Your computer supports one of the following configurations:

- One 3.5-inch hard-drive.
- One M.2 2230/2280 NVMe solid-state drive.
- One 3.5-inch hard-drive and one M.2 2230/2280 NVMe solid-state drive.
- One (or two) 2.5-inch hard-drive and one M.2 2230/2280 solid-state drive.
- The primary drive of your computer varies with the storage configuration. With a M.2 drive, the M.2 drive is the primary drive, and for computers without a M.2 drive, the 3.5-inch (or 2.5-inch) hard drive is the primary drive.

Table 12. Storage specifications

Storage type	Interface type	Capacity
One 3.5-inch hard drive	SATA AHCI, up to 6 Gbps	
Two 2.5-inch hard drives	SATA AHCI, up to 6 Gbps	
One M.2 2230/2280 solid-state drive	SATA AHCI, up to 6 Gbps	
One 9.5 mm slimline DVD-RW drive	SATA AHCI, up to 1.5 Gbps	

## 電源装置の仕様

表 13. 電源ユニット

特長	仕様
入力電圧	100 ~ 240 VAC、200 ~ 240 VAC、50 ~ 60 Hz
ワット数	<ul style="list-style-type: none"> <li>200 W APFC 高電圧</li> <li>200 W APFC 100V ~ 240V フル レンジ</li> <li>200 W EPA Bronze</li> </ul>

## セキュリティ ハードウェア

表 14. セキュリティ ハードウェア

特長	仕様
セキュリティ HW	<ul style="list-style-type: none"> <li>BIOS 経由のデータワイプ (セキュア消去)</li> <li>Computrace BIOS エージェントのサポート: Computrace および Proactive Systems 管理の両方をサポート</li> <li>分離型 TPM 2.0 (オプション)</li> <li>BIOS による TPM の無効化 (中国のみ)</li> </ul>

## 法令順守と環境への配慮

表 15. 法令順守と環境への配慮

特長	仕様
法令順守と環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>Energy Star 7.1 (特定の構成でのみ使用可能)</li> <li>FCC、UL マーク</li> <li>100 万時間の MTBF (中国のみ、Post-RTS)</li> </ul>
温度範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作時: 10°C ~ 35°C (50°F ~ 95°F)</li> <li>保管時: -40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)</li> </ul>
相対湿度	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作時: 20 ~ 80% (最大露点温度 = 26°C) (結露しないこと)</li> <li>保管時: 5 ~ 95% (最大露点温度 = 33°C) (結露しないこと)</li> </ul>
空気汚染物質レベル	ISA-S71.04-1985 の定義により G1
振動	振動 (最大) *: 動作時 = 0.26 GRMS、保管時 = 1.37 GRMS。
衝撃	衝撃 (最大): 動作時 = 40 G†、保管時 = 105 G†

# セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでは、ハードウェアの管理と BIOS レベル オプションの指定を行うことができます。システムセットアップから実行できる操作は次のとおりです。

- ・ ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- ・ システムハードウェアの構成を表示する。
- ・ 内蔵デバイスの有効/無効を切り替える。
- ・ パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- ・ コンピュータのセキュリティを管理する。

トピック：

- ・ [セットアップユーティリティへのアクセス](#)
- ・ [ナビゲーションキー](#)
- ・ [セットアップユーティリティのオプション](#)
- ・ [Windows での BIOS のアップデート](#)
- ・ [システムパスワードおよびセットアップパスワード](#)

## セットアップユーティリティへのアクセス

1. コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。
2. 白い Dell のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。

セットアップユーティリティページが表示されます。

**メモ:** キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまで待機します。その後、コンピュータをシャットダウンするか再起動して、操作をやり直してください。

**メモ:** Dell のロゴが表示されたら、<F12> キーを押して、BIOS セットアップを選択することもできます。

## ナビゲーションキー

以下の表ではセットアップユーティリティのナビゲーションキーを示しています。

**メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 16. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドに値を入力するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動することができます。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
<Tab>	次のフォーカス対象領域に移動します。 <b>メモ:</b> 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押すと、未保存の変更を保存するプロンプトが表示され、システムが再起動します。
<F1>	System Setup (セットアップユーティリティ) のヘルプファイルを表示します。

# セットアップユーティリティのオプション

① **メモ:** お使いのおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

## 一般的な画面オプション

このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。

オプション	説明
<b>システム情報</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>システム情報：BIOSバージョン、サービスタグ、資産タグ、購入者タグ、購入日、製造日、エクスプレスサービスコードが表示されます。</li><li>メモリ情報：搭載容量、使用可能な容量、速度、チャンネルモード、テクノロジー、DIMM1のサイズ、DIMM2のサイズが表示されます。</li><li>Processor Information (プロセッサ情報)：Processor Type (種類)、Core Count (コア数)、Processor ID (ID)、Current Clock Speed (現在のクロックスピード)、Minimum Clock Speed (最小クロックスピード)、Maximum Clock Speed (最大クロックスピード)、Processor L2 Cache (プロセッサ L2 キャッシュ)、Processor L3 Cache (プロセッサ L3 キャッシュ)、HT Capable (HT 対応)、64-Bit Technology (64 ビットテクノロジー)が表示されます。</li><li>デバイス情報：プライマリハードドライブ、SATA-0、SATA-1、SATA-2、SATA-3、LOM MAC アドレス、ビデオコントローラ、オーディオコントローラ、WiFi デバイス、M.2PCIe SSD-0、Dock eSATA、ビデオ BIOS バージョン、ビデオメモリ、パネルタイプ、ネイティブ解像度、WiGig デバイス、セルラーデバイス、Bluetooth デバイスが表示されます。</li></ul>
<b>Boot Sequence</b>	<p><b>Boot Sequence</b> コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Windows Boot Manager</li><li>PEBOOT</li></ul> <p>デフォルトでは、すべてのオプションにチェックマークが付いています。オプションの選択を解除したり、起動順序を変更したりすることもできます。</p> <p><b>Boot List Options (起動リストオプション)</b> 起動リストオプションを変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Legacy</li><li>UEFI (デフォルト)</li></ul>
<b>詳細起動オプション</b>	<p>このオプションでは、レガシーオプション ROM のロードを有効にできます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>デフォルトでは、[ <b>Enable Legacy Option ROMs</b> ] オプションは有効に設定されています。</li><li>このオプションでは、レガシーオプション ROM のロードを有効にできます。デフォルトでは、[ <b>レガシー起動試行を有効にする</b> ] は無効になっています。</li></ul>
<b>UEFI Boot Path Security</b>	<p>このオプションで、F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動するときにシステムがユーザーに管理者パスワード (設定されている場合) を入力するように求めるかどうかを制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li><b>内蔵 HDD 以外は常に</b> (デフォルト)</li><li>Always (常に)</li><li>なし</li></ul>
<b>Date/Time</b>	日付と時刻を変更することができます。

## システム設定画面のオプション

オプション	説明
<b>Integrated NIC</b>	内蔵ネットワークコントローラを設定することができます。このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>Disabled (無効)</li></ul>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有効</li> <li>・ Enabled w/PXE ( PXE 付で有効 ): このオプションはデフォルトで有効に設定されています</li> </ul>
<b>SATA Operation</b>	<p>内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Disabled ( 無効 )</li> <li>・ <b>AHCI</b></li> <li>・ <b>RAID On</b> ( デフォルト )</li> </ul>
<b>Drives</b>	<p>基板上の SATA ドライブを設定することができます。すべてのドライブがデフォルトで有効に設定されています。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SATA-0</li> <li>・ SATA-1</li> <li>・ SATA-2</li> <li>・ SATA-3</li> </ul>
<b>SMART レポート</b>	<p>このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART ( Self-Monitoring Analysis And Reporting Technology ) 仕様の一部です。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Enable SMART Reporting ( SMART レポートを有効にする )</li> </ul>
<b>USB 設定</b>	<p>このフィールドでは、内蔵 USB コントローラを設定します。Boot Support ( 起動サポート ) が有効な場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージデバイス ( HDD、メモリーキー、フロッピー ) から起動できます。</p> <p>USB ポートが有効の場合、このポートに接続されたデバイスは有効で、OS で利用できます。</p> <p>USB ポートが無効の場合、OS はこのポートに接続されたデバイスを認識できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable USB Boot Support</b> ( デフォルト )</li> <li>・ <b>Enable Front USB Ports</b> ( デフォルト )</li> <li>・ <b>Enable Rear USB Ports</b> ( デフォルト )</li> </ul> <p><b>①</b> <b>メモ:</b> USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
<b>Front USB Configuration</b>	<p>このフィールドでは、背面 USB 設定を有効化または無効化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Front Port 1</b> ( 右下 ) * ( デフォルト )</li> <li>・ <b>Front Port 2</b> ( 左下 ) * ( デフォルト )</li> </ul> <p>*USB 3.0 対応ポートを示します</p>
<b>Rear USB Configuration</b>	<p>このフィールドでは、背面 USB 設定を有効化または無効化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 背面ポート 1</li> <li>・ 背面ポート 2</li> <li>・ 背面ポート 3 ( w/RJ-45 )</li> <li>・ 背面ポート 4 ( w/RJ-45 )</li> </ul> <p>*USB 3.0 対応ポートを示します</p>
<b>Audio</b>	<p>このフィールドでは、内蔵オーディオコントローラを有効または無効に設定します。デフォルトでは <b>Enable Audio</b> ( オーディオを有効にする ) オプションが選択されています。</p>
<b>Miscellaneous Devices</b>	<p>セキュア デジタル ( SD ) カードを有効化または無効化できます ( デフォルト )。</p>

## ビデオ画面オプション

オプション	説明
<b>Primary Display</b>	<p>このオプションでは、複数のコントローラがシステムで利用可能なときに、プライマリ ディスプレイにするビデオコントローラを指定します。</p>

## オプション

## 説明

- ・ Auto : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
- ・ Intel HD グラフィックス

# セキュリティ画面オプション

## オプション

## 説明

### Admin Password

管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。

**①** **メモ:** システムパスワードまたはハードドライブパスワードを設定する前に、管理者パスワードを設定してください。管理者パスワードを削除すると、システムパスワードとハードドライブパスワードも自動的に削除されます。

**①** **メモ:** パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。

デフォルト設定 : Not set (未設定)

### System Password

システムパスワードを設定、変更、または削除できます。

**①** **メモ:** パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。

デフォルト設定 : Not set (未設定)

### Internal HDD-0 Password

システムの内蔵ハード ディスク ドライブのパスワードを設定、変更、削除できます。

**①** **メモ:** パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。

デフォルト設定 : Not set (設定なし)

### Internal HDD-1 Password

システムの内蔵ハード ディスク ドライブのパスワードを設定、変更、削除できます。

**①** **メモ:** パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。

デフォルト設定 : Not set (設定なし)

### Password Change

管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードドライブパスワードへの許可を、有効または無効にすることができます。

デフォルト設定 : **Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワード変更を許可する)** が選択されています。

### UEFI Capsule Firmware Update

このオプションで、システムが UEFI カプセル アップデート パッケージを使用して BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションはデフォルトで有効化されています。

### Non-Admin Setup Changes

管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは管理者パスワードによってロックされます。

### TPM 2.0 Security

POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効にすることができます。オプションは次のとおりです。

- ・ **TPM On** (デフォルトで有効に設定)
- ・ Clear (クリア)
- ・ PPI Bypass for Enabled Commands (有効なコマンドの PPI をスキップ)
- ・ PPI Bypass for Disabled Commands (無効なコマンドの PPI をスキップ)
- ・ PPI Bypass for Clear Command
- ・ **Attestation Enable** (デフォルトで有効に設定)
- ・ **Key Storage Enable** (デフォルトで有効に設定)
- ・ **SHA-256** (デフォルトで有効に設定)
- ・ 無効
- ・ Enabled (デフォルトで有効に設定)

**①** **メモ:** TPM1.2/2.0 をアップグレードまたはダウングレードするには、TPM ラッパーツール(ソフトウェア)をダウンロードします。

### Computrace

オプションである Computrace ソフトウェアをアクティブまたは無効にすることができます。オプションは次の通りです。

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Deactivate (非アクティブ)</li> <li>Disable (無効)</li> <li>Activate (アクティブ)</li> </ul> <p><b>メモ:</b> <b>Activate</b> (アクティブにする) および <b>Disable</b> (無効にする) オプションはこの機能を永久的に有効化または無効化し、以降変更することはできません。</p> <p>デフォルト設定: Deactivate (非アクティブ)</p>
<b>Master Password Lockout</b>	[ Enable Master Password Lockout ] オプションは、デフォルトでは選択されていません。
<b>SIMM Security Mitigation</b>	UEFI SIMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定: [ SIMM Security Mitigation ] は選択されていません。

## 安全起動画面のオプション

オプション	説明
<b>Secure Boot Enable</b>	このオプションは、 <b>安全起動機能</b> を有効または無効にします。 デフォルト設定: 選択されていません
<b>Secure Boot Mode</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Deployed Mode (デフォルト)</li> <li>Audit Mode</li> </ul>
<b>Expert Key Management</b>	<p>システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。<b>Enable Custom Mode</b> (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PK (デフォルト)</li> <li>KEK</li> <li>db</li> <li>dbx</li> </ul> <p><b>Custom Mode</b> (カスタムモード) を有効にすると、<b>PK</b>、<b>KEK</b>、<b>db</b>、および <b>dbx</b> の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[ <b>Save to File</b> ] — ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。</li> <li>[ <b>Replace from File</b> ] — 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。</li> <li><b>Append from File</b> (ファイルから追加) — ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。</li> <li><b>Delete</b> (削除) — 選択したキーを削除します。</li> <li><b>Reset All Keys</b> (すべてのキーをリセット) — デフォルト設定にリセットします。</li> <li><b>Delete All Keys</b> (すべてのキーを削除) — すべてのキーを削除します。</li> </ul> <p><b>メモ:</b> <b>Custom Mode</b> (カスタムモード) を無効にすると、変更内容がすべて消去され、キーがデフォルト設定に復元されます。</p>

## Intel Software Guard Extensions 画面オプション

オプション	説明
<b>Intel SGX Enable</b>	このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>無効</li> <li>有効</li> <li>Software Controlled (デフォルト)</li> </ul>

オプション	説明
<b>Enclave Memory Size</b>	このオプションで、[ <b>SGX Enclave Reserve Memory Size</b> ] を設定します。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>32 MB</li> <li>64 MB</li> <li>128 MB</li> </ul>

## パフォーマンス画面のオプション

オプション	説明
<b>Multi Core Support</b>	このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。このオプションはデフォルトで有効化されています。プロセッサのマルチコアサポートを有効または無効にすることができます。搭載されているプロセッサは、2つのコアをサポートします。[ Multi Core Support ] を有効にすると、2つのコアが有効になります。[ Multi Core Support ] を無効にした場合、1つのコアが有効になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>All ( デフォルトで有効に設定 )</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> </ul>
<b>Intel SpeedStep</b>	Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。 Enable Intel SpeedStep ( Intel SpeedStep を有効にする ) デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。
<b>C-States Control</b>	追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。 C States デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。
<b>Intel TurboBoost</b>	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。 Enable Intel TurboBoost ( デフォルト )

## 電力管理画面のオプション

オプション	説明
<b>AC Recovery</b>	AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Power Off ( 電源オフ )( デフォルト )</li> <li>電源を入れる</li> <li>Last Power State ( 直前の電源状態 )</li> </ul>
<b>Enable Intel Speed Shift Technology</b>	このオプションを使用して、インテル Speed Shift Technology のサポートを有効または無効に設定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
<b>Auto On Time</b>	コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>無効</li> <li>Every Day ( 毎日 )</li> <li>Weekdays ( 平日 )</li> <li>Select Days ( 選択した日 )</li> </ul> デフォルト設定：Disabled ( 無効 )
<b>Deep Sleep Control</b>	シャットダウン ( S5 ) または休止状態 ( S4 ) モードの間、省電力でシステムが最低限動くようにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Disabled ( 無効 )( デフォルト )</li> <li>Enabled in S5 only ( S5 のみで有効 )</li> </ul>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Enabled in S4 and S5 ( S4 と S5 で有効 )</li> </ul>
<b>USB Wake Support</b>	<p>USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。</p> <p><b>① メモ:</b> この機能は AC アダプターが接続されている場合のみ機能します。待機状態で AC 電源アダプターを取り外すと、セットアップユーティリティはバッテリーの電力を節約するため、すべての USB ポートへの電力供給を停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable USB Wake Support ( USB ウェイクサポートを有効にする )</li> </ul> <p>デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。</p>
<b>Wake on LAN/WLAN ( ウェイクオン LAN / WLAN )</b>	<p>LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Disabled</b> : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> <li>LAN Only ( LAN のみ )</li> <li>WLAN Only ( WLAN のみ )</li> <li>LAN or WLAN ( LAN または WLAN )</li> <li>LAN with PXE Boot ( PXE ブート付き LAN )</li> </ul>
<b>Block Sleep</b>	<p>このオプションでは、オペレーティングシステムの環境でスリープ ( S3 状態 ) に入るのをブロックします。</p> <p>Block Sleep ( S3 状態 )</p> <p>デフォルト設定：オプションは無効に設定されています。</p>

## POST 動作画面のオプション

オプション	説明
<b>Numlock LED</b>	<p>このオプションでは、システムの起動時に NumLock LED を点灯させるかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable Numlock LED : このオプションが有効に設定されます。</li> </ul>
<b>Keyboard Errors</b>	<p>このオプションでは、キーボード関連のエラーを起動時にレポートするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Enables Keyboard Error Detection : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> </ul>
<b>Fastboot</b>	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Minimal ( 最小 )</li> <li>Thorough ( デフォルト )</li> <li>自動</li> </ul>
<b>Extend BIOS POST Time</b>	<p>このオプションでは、追加のプリブート遅延を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>0 秒 ( デフォルト )</b></li> <li>5 秒</li> <li>10 秒</li> </ul>
<b>Full Screen logo</b>	<p>このオプションでは、お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーンロゴを表示するかどうかを指定します。[ Enable Full Screen Logo ] オプションは、デフォルトでは選択されていません。</p>
<b>Warnings and Errors</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Prompt on Warnings and Errors ( デフォルト )</li> <li>Continue on Warnings ( 警告検出でも続行 )</li> <li>Continue on Warnings and Errors ( 警告およびエラーの検出でも続行 )</li> </ul>

## 仮想化サポート画面のオプション

オプション	説明
<b>Virtualization</b>	Intel Virtualization Technology を有効または無効にすることができます。

オプション	説明
	Enable Intel Virtualization Technology (インテル・バーチャライゼーション・テクノロジーを有効にする)(デフォルト)。
<b>VT for Direct I/O</b>	ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。 Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT を有効にする) — デフォルトで有効に設定されています。

## ワイヤレス画面オプション

オプション	説明
<b>Wireless Device Enable</b>	内蔵ワイヤレス デバイスを有効または無効に設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>WLAN/WiGig</b> (デフォルト)</li> <li>・ <b>Bluetooth</b> (デフォルト)</li> </ul>

## 詳細設定オプション

オプション	説明
<b>ASPM</b>	ASPM レベルを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Auto (デフォルト)</li> <li>・ 無効</li> <li>・ L1 Only (L1のみ)</li> </ul>

## メンテナンス画面のオプション

オプション	説明
<b>Service Tag</b>	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
<b>Asset Tag</b>	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>SERR Messages</b>	このフィールドで、SERR メッセージ メカニズムを制御します。一部のグラフィック カードでは、SERR メッセージが必要となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Enable SERR Messages (デフォルト)</li> </ul>
<b>BIOS Downgrade</b>	このフィールドで、システムファームウェアの以前のバージョンへのフラッシングを制御します。 BIOS をダウングレードできます (デフォルトでは有効)
<b>Data Wipe</b>	このフィールドで、ユーザーはすべての内蔵ストレージデバイスからデータを消去することができます。
<b>BIOS Recovery</b>	ユーザーのプライマリ ハード ドライブまたは外付け USB キーのリカバリ ファイルから特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。デフォルトで有効に設定されています。
<b>First Power On Date</b>	このオプションで、所有日を設定できます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

## システムログ画面のオプション

オプション	説明
<b>BIOS Events (BIOS イベント)</b>	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。

# SupportAssist システムの解決策

オプション	説明
<b>Auto OS Recovery Threshold</b>	SupportAssist システムの自動ブートフローを制御することができます。オプションは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 消灯</li><li>・ 1</li><li>・ 2 (デフォルトで有効)</li><li>・ 3</li></ul>
<b>SupportAssist OS Recovery</b>	SupportAssist OS Recovery によりリカバリすることができます (デフォルトでは有効に設定されています)

## Windows での BIOS のアップデート

システム基板を交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (セットアップユーティリティ) をアップデートすることをお勧めします。

**① | メモ:** BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

1. コンピュータを再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
  - ・ サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、**Submit (送信)** をクリックします。
  - ・ [ **Detect Product** ] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービスタグを検出または検索できない場合は、[ **Choose from all products** ] をクリックします。
4. リストから **Products** カテゴリを選択します。

**① | メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポート**ページが表示されます。
6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。  
[ Drivers and Downloads ] セクションが開きます。
7. [ **Find it myself** ] をクリックします。
8. [ **BIOS** ] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
10. **ダウンロード方法を以下から選択**してください ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。  
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**Save (保存)** をクリックします。
12. **Run (実行)** をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。  
画面の指示に従います。


## システムパスワードおよびセットアップパスワード


表 17. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

**△ | 注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

## システムパスワードまたはセットアップパスワードの割り当て

ステータスが [ **Not Set** ] の場合のみ、新しい [ **System or Admin Password** ] を割り当てることができます。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。


1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、セキュリティを選択し、<Enter> を押します。セキュリティ画面が表示されます。
2. [ **System/Admin Password** ] を選択し、[ **Enter the new password** ] フィールドでパスワードを作成します。以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
  - ・ パスワードの文字数は 32 文字までです。
  - ・ 0 から 9 までの数字を含めることができます。
  - ・ 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
  - ・ 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、( ) ( + ) ( , ) ( - ) ( . ) ( / ) ( ; ) ( [ ] ( \ ) ( ) ( ` )
3. 新しいパスワードの確認フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
4. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. <Y> を押して変更を保存します。コンピュータが再起動します。

## 既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードやセットアップパスワードを削除または変更する際は、パスワードステータスが ( システムセットアップで ) 「ロック解除」になっていることを事前に確認してください。「**Password Status ( パスワードステータス )**」が「Locked ( ロック )」に設定されている場合は、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更できません。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、システムセキュリティを選択し、<Enter> を押します。システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password ( システムパスワード )** を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. **Setup Password ( セットアップパスワード )** を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。


 **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合は、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力します。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合は、プロンプトが表示されたら削除を確定します。
5. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存しセットアップユーティリティを終了します。コンピュータが再起動します。

## オペレーティングシステム

サポートされているオペレーティングシステム：

- ・ Windows 10 Home ( 64 ビット )
- ・ Windows 10 Professional ( 64 ビット )
- ・ Ubuntu
- ・ Windows 10 national academy

## ドライバのダウンロード

1. の電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. **Product Support (製品サポート)** をクリックし、お使いののサービスタグを入力して、**Submit (送信)** をクリックします。  
 **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いののモデルを手動で参照してください。
4. **Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード)** をクリックします。
5. お使いのにインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバを選択してインストールします。
7. **Download File** をクリックして、お使いののドライバをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

## Intel チップセットドライバ

インテル チップセット ドライバがすでにシステムにインストールされているかどうかを確認します。

- ▼ System devices
  - ACPI Fan
  - ACPI Fan
  - ACPI Fan
  - ACPI Fan
  - ACPI Fan
  - ACPI Fixed Feature Button
  - ACPI Power Button
  - ACPI Processor Aggregator
  - ACPI Thermal Zone
  - ACPI Thermal Zone
  - Composite Bus Enumerator
  - Dell Diag Control Device
  - Dell System Analyzer Control Device
  - High Definition Audio Controller
  - High Definition Audio Controller
  - High precision event timer
  - Intel(R) Management Engine Interface
  - Intel(R) Power Engine Plug-in
  - Intel(R) Xeon(R) E3 - 1200/1500 v5/6th Gen Intel(R) Core(TM) Gaussian Mixture Model - 1911
  - Intel(R) Xeon(R) E3 - 1200/1500 v5/6th Gen Intel(R) Core(TM) PCIe Controller (x16) - 1901
  - Legacy device
  - Microsoft ACPI-Compliant System
  - Microsoft System Management BIOS Driver
  - Microsoft UEFI-Compliant System
  - Microsoft Virtual Drive Enumerator
  - Microsoft Windows Management Interface for ACPI
  - Microsoft Windows Management Interface for ACPI
  - Microsoft Windows Management Interface for ACPI
  - NDIS Virtual Network Adapter Enumerator
  - Numeric data processor
  - PCI Express Root Complex
  - PCI standard host CPU bridge
  - PCI standard RAM Controller
  - PCI-to-PCI Bridge
  - Plug and Play Software Device Enumerator
  - Programmable interrupt controller
  - Remote Desktop Device Redirector Bus
  - System CMOS/real time clock
  - System timer
  - UMBus Root Bus Enumerator

## シリアル I/O ドライバ

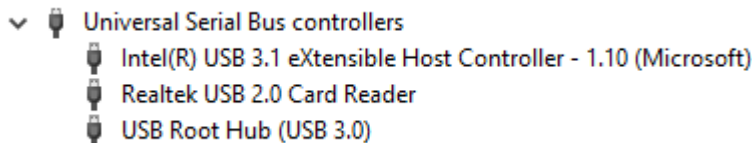
タッチパッド、IR カメラ、キーボードのドライバがインストールされていることを確認します。



図 1. シリアル I/O ドライバ

## USB ドライバ

USB ドライバがすでにコンピューターにインストールされているかどうかを確認します。



## ネットワーク ドライバ

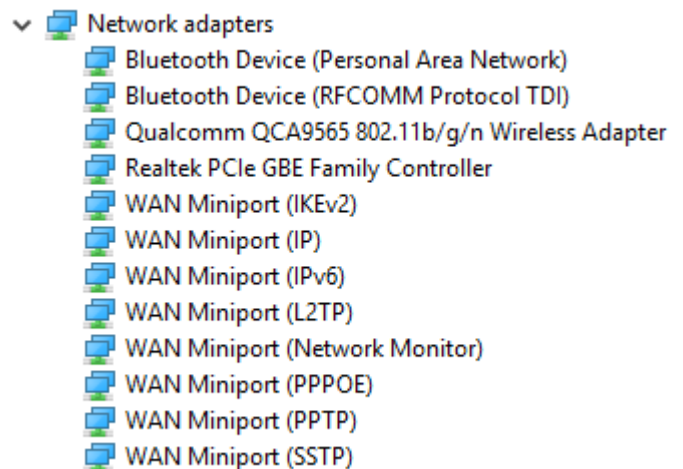
デル サポート サイト から WLAN および Bluetooth ドライバをインストールします。

表 18. ネットワーク ドライバ

インストール前



インストール後

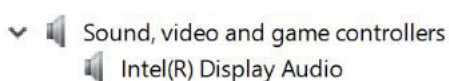


## Realtek オーディオ

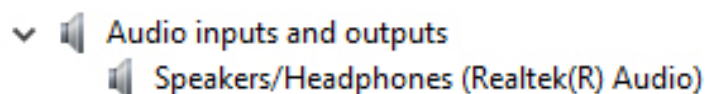
オーディオ ドライバがすでにコンピューターにインストールされているかどうかを確認します。

表 19. Realtek オーディオ

インストール前





インストール後



## シリアル ATA ドライバ

パフォーマンスを最大化するため、最新のインテル ラピッド ストレージ ドライバをインストールします。デフォルトの Windows ストレージ ドライバのご使用はお勧めできません。デフォルトのシリアル ATA ドライバがコンピューターにインストールされているかどうかを確認します。

- ▼  Storage controllers
  -  Microsoft Storage Spaces Controller

トピック：

- ・ [デルへのお問い合わせ](#)

## デルへのお問い合わせ

**①** **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国/地域の選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。